

成 田 市 教 育 委 員 会 会 議 議 事 録

令和7年11月成田市教育委員会会議臨時会

期 日 令和7年11月19日 開会：午前11時45分 閉会：午後0時7分

会 場 成田市役所5階 503会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	日 暮 美智子
委 員（教育長職務代理者）	高 山 勇
委 員	佐 藤 勲
委 員	磯 部 祐 子

出席職員

教育部長	松 島 真 弓
教育部参事	藤 崎 清
教育総務課長	高 仲 浩 一
教育指導課長	西 崎 祐 一
教育総務課長補佐（書記）	森 一 朗

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 岡本委員、佐藤委員

3. 議 事

（1）議 案

議案第1号「部活動地域展開における実施クラブ数について」

西崎教育指導課長：10月の教育委員会にて、令和8年4月以降の「地域クラブの立ち上げ」

について報告させていただきました。その時点におきましては、全102のクラブのうち、82のクラブを学校単独で、20のクラブを近隣の学校で統合して立ち上げる予定としておりました。

教育委員会会議後、10月末から11月にかけて中学校の教職員、保護者及び生徒に部活動地域展開に関するアンケート調査を行いました。その結果が、円グラフが入っているホチキス留めの資料になります。保護者・生徒向けアンケートの1及び4の結果をご覧くださいと、「他の中学校と一緒に活動したい」と回答した生徒が一定数おりました。

このことから、生徒、学校ともに統合の希望が多かった2つのクラブについては統合することとしました。具体的には、地域クラブの一覧表において青色で示しております、成田中央地区の剣道、もう一つは成田北部地区と遠山中の女子バスケットボールとなります。この変更により、全クラブ数が99、そのうち78クラブが単独で、21のクラブが統合して活動することとなります。

実施クラブ数についての説明は以上となります。

次に、各学校の児童生徒への地域展開に関する周知について、説明させていただきます。

まず、9月中旬に、地域展開について児童、生徒への理解を図るため、市内全児童生徒に「R8. 4月から、休日の部活動がかわります」を配信するとともに、11月中旬から、小学校6年生児童に対し、教育指導課の担当者が全校へ伺い、資料の写真のようにスライドを活用し、説明を行っております。

また、中学生への説明は、来年1月から2月を予定しており、各学校の先生方に説明を担当していただくことを考えております。加えて、1月頃に開催されます各中学校の新入生説明会や、4月頃に行われる部活動説明会におきましても、各校の担当の先生に説明を行っていただく予定としております。

以上のような説明を重ねることにより、児童、生徒、保護者等の理解を深められるよう努めてまいります。

日暮教育長：アンケート調査の結果について、傾向などを踏まえてもう少し詳細に説明をお願いします。

西崎教育指導課長：まず、教職員向けのアンケート調査の結果についてであります。部活動に対して困り感を抱えている教職員が多く、「やりがい」と「困り感・負担感」の比重についての設問では、「やりがいより、困り感・負担感が強い」と回答した職員が57.1パーセントと高いことが分かりました。

また、部活動の地域展開については、賛成と回答した職員が8割を超え、また、休日の部活動の地域展開の開始時期については、予定どおり4月からの完全移行を希望するとの回答が、約8割となったところであります。

なお、各学校を拠点として地域クラブを立ち上げた場合に、部活動の顧問が地域クラブの指導者を務める、いわゆる兼職兼業を希望するかについては、希望する割合は16パーセントとなりましたが、今後「1部活1クラブ」の周知が進むことにより、兼職兼業を希望する職員の割合は増加するものと考えております。

次に、保護者・生徒向けのアンケート調査の結果についてであります。現在学校を統合して活動を行っている生徒においては、来年度も現状のように統合して実施を希望するとの回答が約4割あったところでありますが、現在学校単独で活動を行っている生徒においては、来年度も単独で実施を希望するとの回答が約8割となったところであります。

また、中学校・義務教育学校向けにアンケートを実施したところ、剣道においては成田中学校と遠山中学校の両校から統合を希望するとの回答が、女子バスケットボールにおいては、久住中学校・下総みどり学園・大栄みらい学園に加え、遠山中学校からも統合を希望するとの回答があったところです。この

ようなことから、現在の部員数等も考慮し、剣道ではこの2校を統合、女子バスケットボールではこの4校を統合し、地域クラブを立ち上げることに変更したものであります。

《議案第1号に対する質疑》

高山委員：現在学校を統合して活動している生徒においても、来年度の活動形態については単独での実施を希望するとの回答が約6割となっていますが、どのような理由からなのでしょうか。

西崎教育指導課長：単独での実施を希望する理由は、送迎の問題が大きいと考えています。また、統合による練習環境や活動形態の変化への不安もあるのではないかと考えています。

なお、単独での実施を希望している部活動においても、今後生徒数が減少し、単独では練習や大会参加が出来ないというような状況になったときには、統合せざるを得ないのではないかと考えています。

佐藤委員：遠山中学校の女子バスケットボールは、成田北部地域と統合するとのことですが、4つに分けた拠点を越えてまで統合する必要があるのでしょうか。

西崎教育指導課長：女子バスケットボールは、遠山中学校単独では、現在でもチームを作ることが出来るギリギリの人数であり、また、成田北部地域の3校全体でも人数はギリギリであります。今後、クラブへの登録の際にはさらに人数が減少すること考えられますので、確実にチームとして試合に出場することができるよう、拠点を越えてになりますが統合をしようとするものであります。

佐藤委員：保護者の送迎等の負担を考えると、遠山中学校は単独でも良いと思うのですが、統合

したいとの希望があったのでしょうか。

西崎教育指導課長：遠山中の女子バスケットボールは、先月の教育委員会会議においては、単独での実施として提案をしたところですが、生徒や学校からの要望を受けて統合することに変更したものであります。

磯部委員：学校を統合して活動を行っている場合、平日の練習でやっているポジションと違ってしまうことや、試合には学校単位で出場することから、土日に一緒に練習していても試合では敵同士になってしまうこともあるようですが、そのような問題について考えはいかがでしょうか。

松島教育部長：現在は第3期モデル事業として、学校を統合して地域クラブの活動を行っているところでありますが、来年4月の地域クラブの立ち上げに際しては、アンケート調査の結果等も踏まえ、現在学校部活動として活動している種目は、学校単位で地域クラブ化することを基本とすることとしております。

人数の少ない種目など一部については、学校を統合して活動を行うものもありますが、学校単位で地域クラブ化することにより、送迎の問題、練習環境の問題等の様々な課題を解決できるものと考えております。

高山委員：小学校6年生に対しては既に説明を行い、来年には中学校に説明を行うとのことで素晴らしい取り組みだと思いますので、このような取り組みを継続し、保護者、子どもたちの理解を得て来年4月から休日部活動の完全地域展開をスタートしてもらいたいと思います。

日暮教育長：他には特にないようですので、議案第1号「部活動地域展開における実施クラブ数について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

4. その他

5. 教育長閉会宣言